

第36回九都県市合同総合防災訓練に参加（東京都支部）

毎年東京都は、23区と三多摩地区とで隔年での合同総合防災訓練を実施しておりますが、当支部も参加してアマチュア無線が非常災害時の活躍等のPRを含め、訓練会場に移動局を開設し、数バンドでの運用を行いデモンストレーションを実施しております。

併せて、アマチュア無線に興味ある方には『スタートハムライフ』等のパンフレットを配布し、アマチュア無線の楽しさの説明そして、無線従事者ライセンスの取得とJARLへの入会を呼びかけております。

平成27年度は立川市との合同並びに、九都県市合同総合防災訓練で国の指針により、防災の日の9月1日（火）に実施されました。

会場は、立川市の『国営昭和記念公園』及びその周辺で、当支部のブースメントは、展示・体験ブースの爲昭和記念公園内の夢広場で、地元立川市アマチュア無線クラブ員の協力を戴き、JARL局のJA1YRLを現地に開局し、50MHz・144MHzそして433MHzの3バンドでメリット交換での非常無線通信訓練を実施致しました。



本年の参加機関並びに参加者数の主催者発表は、東京都他8県の消防本部のレスキュー隊とその車両や給水車等と、併せて陸上・海上・航空の各自衛隊、海上保安庁、在日米、陸・海・空軍、そして海外からは、台北市、ソウル市、新北市の消防局、台湾赤十字他等、国内防災関係等各種団体総数84団体、参加者数は4,390名との報告でありました。

特に本年は、総務省関東総合通信局も『災害対策用無線システム』等の展示・デモンストレーションブースも見受けられました。

当日の天候は生憎の雨天となってしまう、一般参加者が少なく誠に残念でしたが、閉会式講評には、安倍総理大臣、舛添東京都知事、そして森田千葉県知事等警備が厳しく実眼では見る事が出来ませんでした、モニターテレビで確認することが出来ました。

尚、会場の隣接地は陸上自衛隊、東京消防庁、海上保安庁他各省庁のヘリコプター基地の爲、安倍総理を含め各都県の知事殆どがヘリコプターで訓練会場に参集された模様でした。

最後になりますが、平成7年の阪神淡路大震災、そして23年3月11日の

東日本大震災の様な大震災が何時何処で発生するか分かりません。

私達アマチュア無線家は、この様な大震災が万一発生した場合、地元地域の皆様にアマチュア無線が少しだけでも活躍し貢献出来るかの訓練をしておかねばなりません。

地元地域の防災関係各機関と常日頃の連携、並びにそれに対応する組織作りすることが大事ではないでしょうか。

九都縣市合同総合防災訓練とは？

こちらをご覧ください

<http://www.9tokenshi-bousai.jp/>